

四、日本労働倶楽部は、大右翼結成の傾向を有し、統一協賛會は對立分離主義に墮するの危険性を有す。兩者の、實質的な解體統一に依る全國労働組合統一會議の結成こそが、我黨本来の具現なりとす。

五、我黨支持労働組合は、此の大方針に於いて、日本労働俱樂部の、偏向を打破し、統一協賛會の、狹隘性を清算し、以て全國労働組合統一會議に、發展せしむることを要す。

六、日本労働俱樂部の反動性は、積極的方策に依つて、これを打破せざるべからず。之れが戦術として、積極的に日本労働俱樂部の門戸開放を要求せしめ、統一ある戦術と、執拗果敢なる闘争に依つて、眞に戰闘的なる全國労働組合統一會議獲得のキャンペーンを起すことが統一主義の執るべき任務とす。

七、全國労働組合統一會議の理想形態は、産業別合同の完成に向つて、先づ最善の努力を捧ふ。

八、我黨は、労働組合に對する従来の、消極的態度を改め、積極的、此の方針の實現の爲め支持労働組合と協力通過す。

この案は十一月五、六日に開かれた、擴大中央執行委員會に於て歴史的多数を以て可決せられた。黨本部はその方針を具現するためあらゆる努力を捧げつゝある。

(一)労働組合統一と闘争する今一つの重大問題は總

聯合の問題であつた。府縣會議員の選挙戦を通じて、大阪及び神戸に於て、支持團體間の連絡統一の、缺如のために立候補の争ひを生じたことは黨の深く遺憾とするところであつた。幸にして大阪に於ては西成區の兩候補者を公認することを以て落着したが、神戸に於ては總聯合推薦の候補者が黨公認候補と對立するに至り、問題は選挙戦後にもち越された。十月二日大阪中の島公會堂に開かれた日本労働組合總聯合の昭和六年度大會は黨に對して批判的態度を探り、政治特別委員會を選任してこの問題の具體的處理を取扱はしめた。政治特別委員會は十月二十四日正式の會合を開いて黨に對する質問書を決定し、二十六日黨本部に提出して來た。黨本部は第十三回公任委員會に於て特別委員會を任命し、總聯合本部を訪問せしむると共に正式に回答書を作成してこれを總聯合に交付した。總聯合問題の今日に至る經過は、略以上の通りであるか、黨本部は支持團體間に於ける連絡統一の缺如に根ざしてゐる本問題の速かなる圓滿解決を期待してゐる。總聯合の黨本部に提出したる質問書並にこれに對する回答書は左の如し。

### 質問書

一、日本労働組合總聯合は、從來黨本部の採り來れる行動が、しばしば總聯合の發展に不利なる偏頗的又は、激進的態度を示

二、基本的經濟團體間に於ける、戰線統一が行はれざる限りに於て政治戰線の眞の統一は不可能なることなるにも拘はらず黨本部は此の點に於て何等の方針を有せざらざると思ふ。

三、以上の如き實情は、結局に於て「共同戦線黨」の破綻を意味するものと考へられるがこの點は如何

四、黨は、黨本部の立場より共產主義に對して如何なる見解を持つや

五、黨は現下の政治的、最大問題たる帝國主義戦争に對して反對な聲明あるも果して實際的にそれを如何にする方針か

六、現下の一般客觀的状態は、労働階級にとつて眞に重大危機たるにも拘らず、選挙黨の弊に墮し、労働解放に貢獻し得ざる黨本部の現状はこれまた「共同戦線黨」の本質上の問題たらざるや否や

右の六項目にわたる黨本部の明確にして詳細なる回答を切望する。

一、我黨は、労働組合に對する従来の、消極的態度を改め、積極的、此の方針の實現の爲め支持労働組合と協力通過す。

二、基本的經濟團體間に於ける、戰線統一が行はれざる限りに於て政治戰線の眞の統一は不可能なることなるにも拘はらず黨本部は此の點に於て何等の方針を有せざらざると思ふ。

三、以上の如き實情は、結局に於て「共同戦線黨」の破綻を意味するものと考へられるがこの點は如何

四、黨は、黨本部の立場より共產主義に對して如何なる見解を持つや

五、黨は現下の政治的、最大問題たる帝國主義戦争に對して反對な聲明あるも果して實際的にそれを如何にする方針か

六、現下の一般客觀的状態は、労働階級にとつて眞に重大危機たるにも拘らず、選挙黨の弊に墮し、労働解放に貢獻し得ざる黨本部の現状はこれまた「共同戦線黨」の本質上の問題たらざるや否や

右の六項目にわたる黨本部の明確にして詳細なる回答を切望する。